

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	歯科技工料調査費			担当部局庁	保険局			作成責任者
事業開始年度	昭和62年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医療課			宮崎 雅則
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策	高齢社会対策			主要経費	社会保障			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	歯冠修復及び欠損補綴に際して用いられる各種歯科技工物の歯科技工料を調査し、歯科保険医療について検討するための基礎資料を得ることを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	歯科医療機関と歯科技工所を対象とし、歯科医療機関については、歯科技工所から納入された歯科技工物の歯科技工料を調査し、歯科技工所については、当該歯科技工料を納入面から調査する。 歯科医療機関については、1,400力所(母集団約68,000力所)、歯科技工所については、1,200力所(母集団約4,900力所)を無作為に抽出し、これらの調査客体に7月中に出納された歯科技工物についての歯科技工料を調査する。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	18	9	0	9	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	18	9	0	9	
	執行額	0	9	3				
執行率(%)	-	50%	33%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	歯冠修復及び欠損補綴に際して用いられる各種歯科技工物の歯科技工料を調査し、歯科保険医療について検討するための基礎資料を得ることを目的としており、精度の高い調査にため、医療機関の有効回答率について70%を目標とする。	医療機関の有効回答率	成果実績	%	-	57.9%	61.9	
			目標値	%	-	70	70	-
			達成度	%	-	82.7	88.4%	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
	歯冠修復及び欠損補綴に際して用いられる各種歯科技工物の歯科技工料を調査し、歯科保険医療について検討するための基礎資料を得ることを目的としており、精度の高い調査にため、歯科技工所の有効回答率について60%を目標とする。	歯科技工所の有効回答率	成果実績	%	-	33.1	44.3	
			目標値	%	-	60	60	-
			達成度	%	-	55.2%	73.8%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	調査票を送付した歯科医療機関数	活動実績	件	-	1,400	1,400		
		当初見込み	件	-	1,400	1,400	-	
		達成率	%	-	100%	100%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	調査票を送付した歯科技工所数	活動実績	件	-	1,200	1,200		
		当初見込み	件	-	1,200	1,200	-	
		達成率	%	-	100%	100%		

単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y X: 執行額 Y: 有効回答のあった歯科医療機関及び歯科技工所数			単位当たり コスト	千円	-	2.2	1.8	-
				計算式	X / Y	-	2,673/1,208	2,560/1,398	-
平成 27・28 年度 予算 内訳 (単位: 百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	印刷・発送・集計費	0	9						
	計	0	9						

事業所管部局による点検・改善					
		項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	各種歯科技工物の歯科技工料を調査し、歯科保険医療について検討するための基礎資料を得ることを目的としており、診療報酬改定の適正な評価に反映するという観点から、国費を投入して実施すべきである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	診療報酬改定の基礎資料となるため、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	各種歯科技工物の歯科技工料を調査し、歯科保険医療について検討するための基礎資料を得ることを目的としており、診療報酬改定の適正な評価に反映するという観点から、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札による選定であり、競争性は確保されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	一般競争入札を行うことにより、コストの削減に努めている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	本事業の実施に必要な調査票印刷・封入・発送経費やデータ入力・集計経費等、事業に必要な経費のみを補助対象としている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	一般競争入札の結果によるものであり、特段の問題はないと判断。	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	真に必要な事項のみ調査項目とすることで、入力、集計業務の省力化を図っている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	個別の医療機関等の外注歯科技工料にかかる歯科技工物別の金額及び総取扱件に関する調査であり、現行の調査票調査以外の代替手段はない。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	診療報酬改定において必要とされる十分なデータを得られている。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	得られた成果物(データ)をもって、診療報酬改定を実施することとしており、平成28年の診療報酬改定に活用する。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	平成26年度の執行については、一般競争入札による結果によるものであり、特段の問題はないと判断。1,398件の歯科医療機関及び歯科技工所より、外注歯科技工料にかかる歯科技工物別の金額及び総取扱件数のデータを収集し、診療報酬改定の議論に向けた資料として活用した。			
	改善の方向性	引き続き競争性のある契約を実施するとともに、有効回答率の更なる増加に向けた措置を講じることとする。			
外部有識者の所見					
公募落札による執行率の低減で適正に事業執行がされている。H27年度実施無しは(恐らく診療報酬改定の間と思われるが)理由記載及び回答率に加え回答数の併記を検討していただきたい。(増田)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
一部の事業内容改善	一般競争入札の結果を踏まえ、適正な予算積算を行い、執行率の改善を図ること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	従来のスケジュールであれば、H26年度には調査を実施せず、H27年度に調査を実施するものであったが、H27.10に消費税増税が検討されていたことから、その場合の診療報酬改定への対応の準備としてH26年度に調査を実施した。改定の前年度の調査結果を利用することが望ましいが、H26年度に実施した調査結果を利用することでもH28年度の診療報酬改定への対応が可能であることから、H27年度は実施しなかった。回答数の併記については、次回作成するレビューシートからは記載を検討するものとする。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	274	平成23年度	246	平成24年度	211
平成25年度	244	平成26年度	256		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
3百万円

〔事業の企画、全体調整等、事業全
体の進行管理〕



【一般競争入札】

A. 株式会社タイム・エージェント
3百万円

〔調査用紙の印刷・発送
データの入力・集計〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A. 株式会社タイム・エージェント			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	調査用紙の印刷・発送、データの入力・集計等	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社タイム・エージェン	調査用紙の印刷・発送、データの入力・集計等	35		29.4%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					